

平成15年度～19年度 私立大学学術研究高度化推進事業

学術フロンティア推進事業 平成18年度 研究成果報告書

総括部門

創年学入門
vol.2

高齢者の生きがい対策と
生涯学習まちづくりネットワーク創り



SEITOKU UNIVERSITY
INSTITUTE OF LIFELONG LEARNING
聖徳大学 生涯学習研究所

高齢社会が到来し、人々は、生きがいを持つて、社会のために何か貢献したいと様々な活動に挑戦している。創年とは、自己を生かし社会的に貢献したいとする年代である。生涯現役であり続けたいと思うのは人として自然であり、そのためにも自己を高める必要がある。全国的に「創年市民大学」や「創年のたまり場」などの学習活動が活発化しているのもそのためである。これらの創年活動の発展は、高齢社会日本の活性化に役立つものと思われる。それは各人が自己を高め、個人でできる範囲で地域に貢献しようとする活動であるからである。また、コミュニケーション形成に効果があるからである。

聖徳大学生涯学習研究所は、文部科学省の学術フロンティア推進事業の採択を得て、「生涯学習の観点から、『少子高齢社会の活性化』に関する総合的研究」を実践中である。特に「大学と地域の協働による生涯学習システムの構築」では、「中高年の地域活動の拠点に関する研究」（第4部門）を中心に、NPO法人全国生涯学習まちづくり協会等と連携し、創年活動を推進している。そのため、この本は、NPOと連携しつつ、大学と市民をつなぐことが必要と考え、ここにその一端を普及本としてまとめたものである。

研究者代表 聖徳大学生涯学習研究所 所長 福留 強

中高年（創年）の地域活動の研究について

■研究の趣旨

生きがいづくりのため、中高年者が地域で様々な活動をする機会が求められている。高齢社会を迎える人々の健康、経済、生きがいなど生活の不安が増大しつつある。さらに、中高年者に関しては近年、団塊の世代の問題を中心にはんな課題が提起されている。例えば、仕事づくり、地域活動への参画、青少年育成への役割、子育て

支援、中高年者の生きがい問題など、地域における課題が山積している。

しかし、中高年者はこれまで人生で培ってきた知恵や生き様など、その価値は減することはない。むしろ大きな地域財産となりうるものである。こうした中高年者を積極的にとらえ、人生をさらに輝かせるという意味を持つて「創年」と呼び、地域活動の担い手や企業家としても期待することが可能である。

■研究の目的

この研究は、市民大学や地域活動など社会的な関わりの可能性を拡大するために、次のような項目について研究しようとするものである。

- ①中高年者と青少年との交流を進める地域システムのあり方と、活動を通じた地域の活性化方策に関する研究
- ②大学や団体・NPO等の連携による中高年の生きがいづくりのための方策の研究
- ③中高年者が地域で生きがいづくりをめざす市民大学のプログラムの研究
- ④中高年が地域で自己の能力を發揮するため役立つ大学カリキュラムの研究
- ⑤大学における社会人受け入れのための多様なプログラムの開発とその推進システムの研究
- ⑥中高年者の地域における拠点づくり（たまり場づくり）に関する研究
- ⑦中高年の仕事づくりに関する研究

■研究の内容・方法

(1) 市民大学の研究

- ①団体・NPO等との連携による「中高年の市民大学に関する調査」の実施

- ②中高年の生き方に関する各分野の研究者による研究会の開催と成果の発表
- ③市民大学のあり方とコミュニティカレッジに関する自治体調査の実施・研究
- ④市民大学のプログラムの開発に関する研究

(2) 地域活動の拠点に関する研究

- ⑤各地に市民が設置する研究・実践の拠点（たまり場づくり）の研究
- ⑥団体NPOと連携する中高年の地域活動拠点の設置に関する研究
- ⑦地域における中高年の活動団体・サークルとの連携のあり方と運営の仕組み
- ⑧活動実績の報告書の作成や研究成果の普及に関する研究会の開催
- ⑨研究報告書の作成と成果資料の普及

(3) 仕事づくりに関する研究

- ⑩地域における仕事づくりに関する研究会（セミナー）を出前講座として開催
- ⑪仕事づくり研究成果の実証（空き店舗の活用等）と普及
- ⑫資格取得支援センターの設置に関する研究と実施

■研究の具体的な推進

NPO等との連携（共催による事業等）により、次の項目の各事業を実施している

1. 平成16年度～平成17年度

- (1) 団体・NPO等との連携による「中高年の生活に関する調査研究会」の開催
- (2) 中高年の生き方に関する各分野の研究者による研究会の開催と成果の発表

(3) 各地に市民が設置する研究・実践の拠点（たまり場づくり）の研究

NPO法人全国生涯学習まちづくり協会（研究会）との共同研究

(4) 地域における中高年の活動団体・サークルとの連携のあり方と運営の仕組み作り

(5) 団体・NPOと連携する中高年の地域活動拠点（創年のたまり場）の研究

(6) 活動実績の報告書の作成や研究成果の普及に関する研究会の開催

(7) 研究報告書・論集『創年学』の作成

(8) 研究報告書と成果普及資料の作成 「創年学入門」の発行

2. 平成18年度

(9) 地域における仕事づくりに関する研究会（セミナー）の出前講座

(10) 資格取得支援センターの設置に関する研究と実施

(11) 仕事づくり研究成果の実証（中高年による実験店舗の開設等）

■自治体・NPO団体との研究協力

この研究の効果的推進のため、社会教育団体、地方公共団体、NPO法人等を対象に、必要な調査研究協

力、協働事業の実施および、研究委託等を行う。

①協力自治体：研究内容によって地方公共団体等を選定し、必要な協力を依頼する

②NPO団体等：NPO法人全国生涯学習まちづくり協会、商工会議所等との連携

論文

中高年の地域活動の拠点に

関する研究と動向

「創年のたまり場」の活動と実践

「創年のたまり場」のすすめ

「創年のたまり場」の特色

福留強

1

「われら創年宣言」

花柳千代

池田良鶴

岩崎裕美

前田終止

創年対談

「漫画」と葛飾北斎が 名付けた

松本零士 VS 福留強

12

会員一覧

全国のたまり場紹介

貢献センターニュース

旅のプロデューサー養成講座プログラム

感激観劇 浅香さんの舞台を見て

たまり場通信

創年暴創族になろう

和田芳治

こだわり発見！

野口晃一郎

表紙の人

矢野大和さんの言葉

創年健康道場

前田清貴

妙蓮寺ほつとプラザ

江里口充 庄司歟
古市勝也

志布志まち研からこんにちは！

小窪久美子
齊藤ゆか

創年データ

創年も共生・共学

清水英男

福留強

8

33 32 37 34 30

26

中高年の地域活動の拠点に関する研究と動向

「創年のたまり場」の活動と実践

松戸駅前の聖徳大学生涯学習社会貢献センターでは、文部科学省採択の学術フロー・ノティア推進事業の「生涯学習の観点にたつた『少子高齢化社会の活性化』に関する総合的研究」が進められています。

その特色は、NPOとの連携、現代的な課題への取り組み、少子化の中で大学の役割を検討することなどが、根底に置かれていることです。
さて、この研究は、「子ども」「家庭教育」「青少年の地域活動」「高齢者の生きがい」「市民大学」「コミニティ・カレッジ」「中高年のたまり場」「まちづくり」「社会教育指導者」「国際交流」などのキーワードに関する5つの専門部門を設け、それぞれの研究と実践を

展開しています。本号は、その第4部門に関連し、「中高年」を「創年」とする新しい概念をもとに、「創年のたまり場」（中高年の地域活動の拠点に関する研究）を中心にしています。

これはすでにNPO法人全国生涯学習まちづくり協会が、全国の会員を通じて、「創年のたまり場」として推進していますが、聖徳大学のプロジェクトは、「中高年の地域活動の拠点に関する研究」として、この「創年のたまり場」と連動した研究を推進しています。

全国生涯学習まちづくり協会・研究会は、今後、実際にその運営のためのネットワークを構築し、より継続的、機能的に展開をする方向で検討している。まさに大学と民間団体NPO等と、密接な連携によって成果をあげようとするものである。

「創年のたまり場」のすすめ

◆創年について

「貴方には十分に食べていいけるだけのお金用意します。何もしないでゆっくりと休んでください。日向ぼっこだけでいいですよ」といわれたら貴方ならどうしますか。きっと大喜びの人もいらっしゃるでしょう。しかし私の場合は、せいぜい1週間は持つかもしれません。が、1カ月もしたら「お金は要りません。なんでもいいから、何か仕事をさせてください」などといふかもしれません。

「貴方には、もつともつと活躍してほしいのです。貴方の力を世のために生かしてほしいのです」などといわれた方が、「もう貴方は、年もとられたし、終わつたのでおやめください」などといわれるよりは、はるかに嬉しいにちがいありません。人は、だれでも生きていく上に、自分の生きがいを持つことが最も重要なことです。だれにも、なにかしら得意なものがあるのです。それを生かせたら、それこそ生きがいにつながるものではないでしょうか。そしてそれは誰でも望んでいることです。そのために年齢には関係なく自ら積極的に生きることを主張し、「老人」や「高齢者」ではなく、「創年」と呼ぶことにしたのです。つまり、「創年とは、自分を再び活性化させようとする前向きな生き方」なのです。したがって、創年の時期は、年齢より「自分を生かそう、自分を磨き生かそうと考えたとき」から、ということになり、創年時代は、人生で最も自由に自分を生かせる世代と考えることができます。

創年のたまり場とは、「創年運動を、「理解」し「支持」し「推進」する、地域のふれあいの場

創年のたまり場は、創年がいつでも気楽に集まる場所で、地域活動など、さまざまな活動など、創年の「生きがい」や「ふれあい」があり、さらに、創年運動を、「理解」し「支持」し「推進」する地域のふれあいの場であり、現代のコミュニティ形成の拠点としての期待があります。身近かな所に、だれでも開設できるうえ、規制もなく自分で柔軟な運営がされているからです。なお、創年がこれを経営する場合、リタイヤメン

トビジネスの側面もみられます。

創年のたまり場の特色

これまでに誕生し各地で活動している創年のたまり場には、いくつかの特色がみられます。

◆集客力がアップした

まず、市民に人気がある店が多いこと。オーナーの人柄、店の雰囲気、公的機関にも支援が多いなどの、まちづくりに関する特色があることです。既に、創年のたまり場を名乗ったために、商店街の中で、一人勝ちの店もあります。

地域の人々の癒しの場として、レストランと創作品販売のコーナーを持つ創年のたまり場を名乗る商店は、オープン以来、9ヶ月で約2万人が訪れたといわれています。

「創年のたまり場」の評判が評判を呼んで、県外からも視察者が増えたことも影響しているようです。こうなれば、ますますオーナーも努力することになり、創年のたまり場の店も魅力も増すということになるようです。

創年のたまり場は、喫茶店・飲食店や店舗や宿泊施

設だけでなく、会社の事務所や、住宅展示場、税理士の事務所等も名乗りあげています。「税の話なら何でも話しましょう。相談でも何でもお立ち寄りください」という創年のたまり場。これも楽しそうです。

◆地域の活動集団のあるまちが伸びる

創年のたまり場が、活用されるためには、利用者にあたる潜在的な需要があることも必要です。地域に活動する集団が存在することがたまり場として活用されることが多いからです。また、創年のたまり場が集団を活性化して育てることもあります。それは仲間が仲間を呼び、新しい情報がもたらされ相互に刺激が交換されるからでしょう。

◆「創年のたまり場」数が、まちの魅力のバロメーター

まちに創年のたまり場が数多く存在することが、魅力の場所を増やすことになり、結果的に地域の活性化につながります。今年、初めて、大手の旅行社のツアード、「創年のたまり場ツアーア」が実現することになりましたが、数多くの「創年のたまり場」が、地域に多くの客を誘致するものです。

創年のたまり場の現代的機能

創年の憩いの場になること

気軽に、お茶・コーヒー等が安く飲める場所や、趣味の料理や店の飲食サービスが楽しめる場所が、地域の人々にとって楽しめる場所となっています。ところによつては、地域の行事や、祭りなどのたびに多くの人々が集まる場所があります。全国に1万8千箇所にあるたまり場、公民館は、公的に市民の学習を支援し保障する場所ですが、「創年のたまり場」は、市民が主役の、日常的で、規模も施設設備も、何の制約もない柔軟な民間施設であるといえるものです。

団塊の世代など多くの創年男性たちは、すぐには地域に溶け込めないし、地域には居場所が無いという人も多いようです。創年が地域デビューする、いわば自己を生かすきっかけの場として、また、地域とかかわる契機として、そのスタートの拠点、「地域の中のあたらしいふれあいの場」として「創年のたまり場」が注目されています。

◆まちづくりや観光の拠点

オーナーは地域づくりに関心を持つている人であり、気軽に立ち寄り仲間たちも、地域に関心を持つ人が多く、地域の情報が集まる場となっています。各種会報等が置いてあり、会員に対する情報等サービスの拠点になる、人々が会合やお茶など、語り合う場、小グループの研修の場になつていて例が多い。地域の人々の作品発表や販売品ある、など、観光の拠点としての機能もはたしています。

「創年のたまり場」として、旅館やホテル、喫茶店などの飲食店などが認証されている場合が多い。そこでは地域の情報資料が得られ、ガイドボランティアによる観光のアドバイスが得られる。また創年のたまり場には、名人や名物があり観光の拠点ともなつていて、この「創年のたまり場めぐり」も楽しみになつています。

◆地域の現代的課題を解決する場

地域で子どもを見守る場、幼児が被害者になる事件や、登下校の子どもたちが犠牲になる痛ましい事件が続々、地域で子どもを守る活動が、注目されています。

創年のたまり場は、各地で子どもを育てる機能も期待できる民間施設です。志布志市では、「創年団」が、創年のたまり場からスタートし、地域組織として地域のパトロールを始めました。そういう意味で「創年のたまり場」は、地域の現代的課題について、地域で解決する場でもあるのです。

◆子育て支援の場

子育て体験のある創年が立ち寄る「創年のたまり場」では、地域の子育て拠点として、子育て相談に協力することもできるでしょう。創年の知恵で、子育て支援に協力することができるときすれば、少子化社会への対応を意図的に考える場ともなつていくようです。

◆女性のチャレンジ支援の場となる

各地の創年のたまり場には、女性たちが起す企業も少なくありません。特産品の開発や、販売など女性が社会参加の場として、明確に機能しています。その意味では、女性の各種チャレンジに協力することができると地域の拠点となるでしょう。例えは、女性のチャレンジ支援に関する情報・資料等が提供されるだけで大きな成果が期待されるものと思われます。

◆子どもの居場所づくりを支援する

子どもの相談相手の創年が、子どもの遊びや勉強を教える。あるいは、子どもの読書を指導するボランティアと子どもが交流する場となっています。さらに青年が、創年にパソコンを指導するなど創年と青年の交流の場となるような活動を支援する場ともなっています。

◆地域のボランティアの活動拠点になる

体が不自由で、公民館までは遠くていけないが、近くのたまり場には行けるという場合もあります。ここでは、地域の介護ボランティアとも連絡が可能で、協力支援する場として創年のたまり場そのものが、地域におけるボランティアということができるでしょう。

◆誰でもつくれる「創年のたまり場」

創年のたまり場は、誰でも設置することができます。例えば、喫茶店や、店舗などは、それを地域に広く利用してもらえるように工夫することです。また、自宅を、地域の人々に開放したいと思う人もいるでしょう。それも創年として何とかして地域に役立ちたいという思いであり、これも大切にしたいと思います。

創年のたまり場は、創年が日常的に地域に集まる場をもち、お茶やコーヒーを飲みながら、地域の話題や日常生活で起きた課題について話し合つたりできる「私的なたまり場」であるのです。

◆創年のたまり場の形態

これまでのところ次のようなものが、様々な機能を持つて実践されています。

① 利用者に独自のサービスを行つてゐる喫茶店、レストランなど

創年のたまり場の中では、比較的多いのが、地域の喫茶店、民謡酒場、スナック等です。それらの中には、もともと、人気がある上に、他店との差別化を図つている例が目立つています。「創年と名乗つてください。それなりの料理を工夫します」というレストラン。ミニコンサートを実施してゐる喫茶店など創年のたまり場の特色が演出されていています。こうしたことを、創年オーナーが実践している例が多く見られます。

② 民宿・旅館・ホテルもありますが、今後は、全国のまちづくり協会会員制度を活用した指定宿泊施設と

して推薦する場合も増えて来るものと思われます。

③ そのほか、薬局や書店などの店舗、会社の事務所の一室も創年のたまり場になつてゐるところもあります。無人駅や寺院、学校や幼稚園などの教育機関や自治会館等（生涯学習センター、公民館の一角など）も名乗りをあげていて。特に空き店舗なども、「創年のたまり場」となることも考えられ、以下のような性格を各々が有しています。

住民の団欒・憩いの場、観光（旅）の中継地、子育て支援の場、教育を語れる場、世代間交流の場、地域の子どもを守る拠点、作品展示・販売の場、福祉ボランティアの拠点、外国人との交流の場、コミュニケーションビジネスの場、リタイヤメント、ビジネスの場などが、ここで展開されるはずです。もちろん、これらを全ての条件を満たすことではありません。そのいずれかが特色として發揮できればよいのです。

④ 個人の家（自宅開放）

利用者は別途、会員制（創年宣言者）とし、予約を受けた会員に限定されます。今後最も増加するものと思われます。

「創年」は大きな励ましと 勇気を与えてくれます

日本舞踊を楽しみ、学び、いま若い人たちに日本舞踊の素晴らしさを教える喜びを味わっています。本当に、多くの人に日本舞踊を心から楽しんではいいと思う反面、踊りを通じた人間教育も進めたいと感じることごろです。

東京目白を拠点にする、異なるジャンルの舞踊家3人が、「目白三人の会」として、合同発表会を開催してきましたが、非常に珍しいのだそうです。現代舞踊の美三枝子先生、洋舞・クラシックバレエの小林紀子先生とともに、舞踊の楽しさ素晴らしさを、地域のみなさまに鑑賞していただきたいと公演（発表）を続けてきました。私たちにとっては、お互いに新鮮な勉強の機会であつたような気がします。そして今それぞれ未来の指導者の育成が、共通の課題になつていますが、それもまた同じ悩みではないかと思つています。

そして、今、「創年」という言葉が飛び込んできました。もとより私たちは、活動を休もうなどとは誰も考えていませんが、「創年」は自分に対しても大きな励ましと勇気をあたえてくれます。日本舞踊の素晴らしさを、海外にまで広める活動も進めていますが、さらに大きな目標を掲げられるような気がしています。



花柳 千代

日本舞踊家
花柳千代舞踊研究所主宰



いつでも何度でも 社会の一隅を照らす創年時代



池田 良鶴
浄土宗崇蓮寺 住職

今年五十歳のお正月を迎えた。半世紀も生きてきたのかと思うと、落ちつかない特別な感慨が湧いている。今まで自分はどのようにこの命をつかつてきたのか。

日々の食卓には、少し前まで命あつたものが並ぶ。たくさんの命をいただいて、生きている私である。また、私は縁のある様々な人の優しい言葉や思いやりから気力をもらつて生きている。そしてなにより、御本尊の仏様にお仕えしながら、この身をながらえている。こうして考えると、この五十年は自分で生きてきたのではない。ずっと活かされていたのだと思ふ。だからこそ、今までわが身に蓄えた智慧とやる気を、今度はもつとお返ししていきたい。若者にも、自分の大切さを自信をもつて伝えたい。

いつでも何度でも、思い立つたそのときが、人生の旬だ。そう、今この年を、自分の「創年宣言」の年にしよう。この文をお読みのあなたも、あなたも！ 今の世の中どうなつてているのか、昔なら考えられないことばかり起こって……、という嘆きを行動に変えましょう。私も、お寺を地域を開くという課題をもつて、「子どもお茶サロン」などの活動を始めました。共に、一人につづつの「創年時代」を創っていくことをめざしてー。



もう一度「青二才」に戻つて ワクワクドキドキしましょう

若いときの「自分探し」の果てに分かったことは、「自分」というものは、ひとりつきりになつて内省を深めたところで何者かはわからない。つまり、周囲から「何をすることを求めているのか」を、コミュニケーションを通じて理解する以外に、術（すべ）はないよう人に間の心は「デザイン」されているそうです。人は、自分がいることが誰か他人の役に立つていてるという認識を持つて初めて、生活に張りを持てる生き物として運命づけられているのであれば尚更、コミュニケーション能力を磨いて、様々な人の中で生きていくれる《心の環境整備》を整えていかないと。

そんな私が創年期の今取り組んでいるのが、仕事で積み重ねてきた人脈を基に、若い人たちを活性化し、まちづくりにつなげていく仕事です。若い人たちと互いに響き合うには、まさにキャリア以上に精神作用の質が問われてきます。年を重ねたからと言つて決して奢らず、自分を主張する前に、相手の奏である《音楽》を聴く耳を開くこと。もう一度「青二才」に戻つて、若い人たちと一緒にワクワクドキドキすることが、私にとっての「創年」であり、残された人生を人の中の豊かな生きるための《心の修業》の場でもあるのです。



岩崎 裕美

フリーアナウンサー
コミュニケーショントレーナー
NPO法人
「京小町踊り子隊プロジェクト」
代表理事

一緒に キバイもんそ!! 「市民が主役」のまちづくりは 「創年」から

今回、地方大改革である「ふるさと維新」の大合併を背景に合併した、私たちのまちづくりには、官民一体となつた、活力あるまちづくりに取り組む必要があります。「生き生きと暮らせるふるさとづくり」を約束する私にとって、そこに住む市民ひとりひとりが、できることを見つけ、参画、協働していくことが大切です。市民ひとりひとりが学び、その学んだことを活かす場を見つけ、新しい自分を見出す。それにより「市民が主役」となる新しいまちが創られていくと思います。そのような意識を持つ人全てが「創年」ではないでしようか。

私は、これまで多くの市民のみなさんと一緒に、様々な事業をとおして地域づくり活性化の一因を築いてきましたが、これからも「創年」の一員として、合併した「新ふるさと・まち創り」を市民とともに協働して「市民が誇りをもてる、ふるさと」を創っていきたいと思います。

一緒に、キバイもんそ! (がんばりましょう)



前田 終止
霧島市市長



松本 零士 vs 福留 強

若々しく汚れなき瞳で描かれしものを、

「漫画」と 葛飾北斎が名付けた

高校1年生（1953年）のときに、『蜜蜂の冒険』でデビューした松本零士氏は、すでに半世紀以上も漫画界で大活躍をされていますが、平成3年度より、中央青少年団体連絡協議会会長でもあります。中央青少年団体連絡協議会は、1951年（昭和26年）に、健全な青少年の育成を図る団体相互の連絡と協力、発展を目的として設立された協議会です。この協議会は、その活動をとおして、生涯学習の振興に寄与することをも目的としており、その関係でお付き合いがはじまりました。

松本氏とは、はじめての対談でしたが、映画『宇宙戦艦ヤマト』は、子ども向けを意識しなかったし、『銀河鉄道999』も子ども向けの言葉を一切使わなかったなど、松本氏ならではの子ども観も基づいたお話を伺うことができました。

話がはずみ、当初の予定時間を大幅に超えてしましましたので、2回に分け、前半を掲載させていただきます。

福留 強

中国版『宇宙戦艦ヤマト』が出版された

福留 先日、韓国ソウルに行つたとき、日本の古いおもちゃがたくさん並べられていたおもちゃ屋さんを見つけたのですが、なんとそこに「宇宙戦艦ヤマト」があり、

ちょっとと感動しました。ただし、それは売り物ではないと言われましたが。そのように松本先生も、ご自身の作品を外国で見つけられたことがおありますか。

松本 南太平洋のバナー島に入ろうとしたとき、いきなりフランス語版の『キヤプテン・ハーロック』が置いてあるのが目に飛び込んできて、たまげた覚えがあります。なんぞ南太平洋の島にそれがあるのかと。

福留 息子のところに置いてある宇宙戦艦ヤマトに、孫がずいぶん興味を示していて、『宇宙戦艦ヤマト』を愛する世代が3世代目に突入しようとしています。

松本 岡にあるヤマトミュージアム（「海自歴史博物館」）には、戦艦ヤマトと宇宙戦艦ヤマトの両方の模型が展示されています。宇宙

戦艦ヤマトは、すでに映像や漫画でかなり知られていましたから、展示にあたつても問題が起きることはありませんでした。

中国で、「宇宙戦艦ヤマト」の海賊版が出版されたのは、1970年代後半でしたが、最近は正規の本が出版されました。中国側としては、同じ「ヤマト」でも、宇宙船のヤマトならばかまわない、というスタンスのようです。

韓国では、「宇宙戦艦ヤマト」のテレビ放映の話が、かなりのところまで煮詰まつたのですが、寸前のところで、時期的にまだ早いということで、立ち消えになつたことがあります。あちらとしては、民族感情に火がつくことを恐れたようです。

私の仕事場の玄関を入つたところに、森雪（『宇宙戦艦ヤマト』）のヤマト生活班及び調査・分析班長。男勝りの行動力と女性らしい優しさを併せ持つ）の実物大の像がありますが、じつはあれは上海製です。何十体か作つたようですが、完売しました。日本で型を作り、製造を中国に外注したのです。発注する際に、「これはヤマトですけど、本当にいいのですか」と、先方に念を押したところ、「宇

宇宙戦艦ヤマトでしょう。宇宙戦艦ならないのです」との回答でした。

私としては国際感情を無視することはできないので、創作活動にはそれなりに気を遣い、細心の注意を払っているつもりですからね。それを、中国側も理解してくれています。

福留 「宇宙戦艦ヤマト」は、い

まや世界的にも知られる立派なひとつ文化作品ですから、中国側もそのように認識してくれているのでしょうか。そういう意味では、中国の方が韓国より、一步先を行っているかもしれませんね。

歴史は、一国のものだけから判断する、間違いをおかしやすい

福留 私は生涯学習を推進するひとりとして、日本全国を飛び回つ

ていますが、最近では日本だけで

はなく韓国でも、生涯学習が提唱されるようになりました。日本では平成元年から「生涯学習フェスティバル」というものを行っています。文部科学省（旧文部省）が、学校週5日制を導入する前から、

生涯学習体系という形でスタートしたものです。

松本 海賊版くらいはあるかもし

れません。たとえば『明日のジョー』などは出版されています。ただし、海賊版でも登場人物が日本人だと分からないように、下駄を靴に変えるという修正されています。そのように、いろいろの都合によって名称なども修正されていますが、おそらく「ヤマト」は「ヤマト」のままでしょう。

たとえば韓国では、『銀河鉄道999』というタイトルは『ウナ・ヨリド999』となっています。

韓国生涯学習フェスティバルの

4回目の大会（平成17年9月24日）

も招かれて行ってきたのですが、韓国の町を歩いてみたかぎりでは、たしかに（『宇宙戦艦ヤマト』）に関連するものを市販しているところは見なかつたように思いました。



韓国語で、銀河は「ウナ」（沈銀河）シム・ウナという韓国の女優がいます）、鉄道は「チヨリ」というのだそうです。また「999」を韓国では「グーラー」、と発音しますが、中国では「キュウ」、タイでは「ガキュウ」、イタリアでは「ノベノベ」といろいろ違っています。登場人物の「メーテル」は、どの国もそのまま「メーテル」になっています。

松本 零士(まつもとれいじ)

1938年、福岡県久留米市生まれ。1954年、16歳の時に雑誌「漫画少年」の第1回長編漫画新人賞を受賞。1972年「男おいどん」で講談社出版文化賞受賞。1975年『宇宙戦艦ヤマト』がテレビアニメ、劇場アニメ化され大ブーム。1999年4月よりインターネットで「銀河鉄道999」の連載開始。「クイーンエメラルドス～不滅の紋章～」他、版画作品の制作、発表。2000年、コミックGOTTAで「新宇宙戦艦ヤマト」大好評連載中。現在、日本宇宙少年団理事長、宇宙開発事業団参与などを務める。代表作は「銀河鉄道999」「宇宙戦艦ヤマト」「宇宙海賊キャプテンハーロック」など多数。

作品は世界中を駆けめぐるので、書く側としては万全の備えで臨まなければなりません。そのため参考資料だけではなく、各国の歴史や出来事について勉強していく必要があります。それらが集積されたものが作品に反映されていくわけですから、ひとつものに偏っていてはダメなのです。福留　歴史については、作品を創るうえに、とくにそうしたことが重要でしょうね。

松本　歴史上の大きな出来事については、当然、他の国がどう捉えているかを知る必要があります。そこで、各国の解釈や捉え方を調べていくのですが、そうすると同じ出来事であっても、国によって捉えたや感じたが、ずいぶん違うことが分かり、1つの出来事を多方面から捉えることにより、「ああ、実際はこういうことだったのだ」と、信頼に足る事実が浮かび上がってくるのです。

歴史というものは、古い時代のものも含めて、一国のものだけから判断すると間違いをおかしやすいですね。それは、どうしても作者の属している国の考えに近いものになってしまふからです。ものごとを多方面からとらえていく学習の仕方というものが、大切ですね。

私は、小倉生まれの玄海育ち、 九州に演歌がないのは、 女性たちの芯が強いから

福留 九州の男は荒っぽいがさつぱりしていて、九州の女は芯が強く元気だと言われていますが、松本先生も九州のご出身なのです。

松本 北九州の小倉生まれ、玄海育ちで、よくいえば日本でいちばん男っぽい気質を持ち合わせているといえるかもしれません。男つぽいというのは、さっぱりしているということです。

福留 その男っぽい先生が、どうしてメーテル（『銀河鉄道999』の女性ヒロイン）やスター・シャン（『宇宙戦艦ヤマト』のイスカンダル最後の女王）などの美しく可憐な女性を描けるのでしょうか。

松本 九州の女性は、体格はけつこうよく、顔立ちは面長で、北野（久留米市に接する福岡県南西部の町）の方に行くと、ちょっと丸顔で二重まぶたの女性が多く、北野美人と呼ばれています。

それに、外では男を立てて、絶対に傷つけないというのも、九州の女性の特徴ですね。ただ一度家のなかに入ると、もうその限りではありません。そのことで思い出すのは、アメリカ前大統領のクリントンとヒラリー夫人の関係です。クリントンと当時の研修生だった女性との「不適切な関係」問題が取り上げられたとき、ヒラリー夫人は外では夫を信頼する姿勢をけつして崩しませんでした。ところが家では、クリントンはソファで寝るのを余儀なくされたらし

いですから、九州の女性とじつに似ているなあと思つたものです。

九州には演歌がないと言う人もいます。たとえば「津軽海峡冬景色」のように「あなた死んでもいいですか？」などは、九州には絶対に馴染みません。「悲しみ本線」もありません。せいぜい「五木の子守歌」と、長崎を歌つたものが少しあるくらいです。

九州に演歌がないのは、女性たちの芯が強いからでしょう。「死んでもいいですか」などというフレーズは、どうあっても出てくるわけがなく「殺されても生きてやる」というようなことで、彼女たちからは逆に元気をもらえるのですよ。

松田聖子、孫正義、五木寛之、長谷川町子も、久留米出身



福留 強(ふくどめつよし)

聖徳大学生涯学習研究所 所長、教授 NPO法人全国生涯学習まちづくり協会理事長

国立社会教育研修所、文部省、を経て、平成5年九州女子大学教授、現在にいたる。

全国生涯学習まちづくり研究会「全国子どもをほめよう研究会」設立したほか、平成15年度には、韓国と第1回韓日生涯学習まちづくりフォーラム（韓国大田広域市）を実現させた。

著書として、「今こそ市民改革を」（文芸社）、日韓で「生涯学習まちづくりの方法」（日常出版）や「子ほめ条例のまちは変わるか」（イザラ書房）等、多数。

福留 私は薩摩ですが、薩摩には昔から男っぷりのいい人がたくさんいましたが、あれも詰まるところ女性が偉かつたのでしようね。

松本 そうですね。西郷隆盛にして「我が胸の燃ゆる想いに比べれば、煙ぞ薄し桜島山」などという歌を詠んだくらいですから。おそらくそうした気風というのは、九州全土に共通していると思います。

福留 女優さんも、九州の北のご出身の方が多いようですね。

松本 私が子どものときに、よく本を買った本屋の娘さんが、中尾ミエでした。松田聖子は、隣の久留米です。高倉健は、北九州市の戸畠です。九州出身の芸能人は、じつに多いです。ソフトバンクの孫正義さん、それに五木寛之さん、長谷川町子さんも久留米です。芸能人、作家から経営者にいたるまで、北九州出身者はたしかに多いですね。

福留 私も文部省を中途して北九州の折尾に6年半いたことがあります。この間、北九州から山口県まで含めて「関門○○百選」というものをやったときも、たしかに松本清張先生と私の名前が並んでいました。家も近いですし、育つた環境も似ているなど共通点も多いですよ。

松本清張先生の娘さんは、私の同級生でしたし、朝日新聞社時代の清張先生にもお目にかかるています。じつは私の生家は、朝日新聞社の真ん前で、私にとつて朝日新聞社は遊び場だったのです。

松本 私が子どものときに、よく本を買った本屋の娘さんが、中尾ミエでした。松田聖子は、隣の久留米です。高倉健は、北九州市の戸畠です。九州出身の芸能人は、じつに多いです。ソフトバンクの孫正義さん、それに五木寛之さん、長谷川町子さんも久留米です。芸能人、作家から経営者にいたるまで、北九州出身者はたしかに多いですね。

松本 この間、北九州から山口県まで含めて「関門○○百選」というものをやったときも、たしかに松本清張先生と私の名前が並んでいました。家も近いですし、育つた環境も似ているなど共通点も多いですよ。

ます。その当時、私の社会教育仲間の一人がよく言つていました。「北九州には2人松本がいる。松本零士先生と松本清張先生だ」と。たしかに両先生は北九州の二枚看板です。

熊本藩と伊達藩、 会津藩と薩摩藩・長州藩と の確執はいまも

福留 昔から音楽や美術についても、北九州は盛んですし、レベルも高いようですね。情熱の度合いも関係ありそうですね。

などは無頓着なのですが、これをいつたい誰が持っていたのかといふことには、こだわりがあつて、持ち主だけは、はつきりしています。日本で最初に近代日本地図を描いた伊能忠敬が使った方位盤や月の満ち欠けまで分かる測定器なども持っています。

私は古いものを集めるのが好きで、「人斬り半次郎」（注）と呼ばれた中村半次郎の刀も持っています。西南戦争に破れた西郷隆盛は、死期を悟つて「もうここでよか」と言うのですが、「よか」といわれた相手は怪我をしていて身動き

できなかつたので、実際に西郷隆盛を斬つたのは、副総帥であった中村半次郎だと言われています。そのとき使われたのが、いま私が派手な刀なのです。

福留 幕末の確執が今もあると言われますが。

松本 私は土佐藩主の谷干城の刀も持っているのですが、あるとき鹿児島の人と熊本の人には「この2つを並べて展示してみたら」と提案してみました。ところが、両者

その前の戊辰戦争では、薩摩は会津若松城に攻め込んだのですが、逆に斬り込まれたこともあります。そのときに相手の刀を鐔^{つば}で受け、

5ミリほどのあとがはつきりと残っています。その鐔^{つば}がものすごく派手で、黒の鞘には桐を金銀であらつた文様がついていて、サベルのようにも見える日本刀なのです。中村半次郎が、それを懷に差し、馬に乗つて吉原を走ると、嬌声があがつたといわれるくらい派手な刀なのです。

福留 先生は、刀そのものもありますが、歴史および歴史上の資料などに興味をお持ちなのでしょう。

松本 そうですね。刀の保存状態

とも「嫌だ」というのです。これはこれで西南の役（谷干城は西南戦争の鎮圧に当たった経緯がある）の時のしこりが残っているのでしょうか。

「人斬り半次郎」の刀も、目白の

椿山荘で薩摩展を開催されたとき

に貸し出されたのですが、会場を訪れた方の、とくに会津側の人たちの反応は微妙でしたね。

熊本と仙台の伊達藩にも、いまだに確執があつて、熊本に行つたとき、ある飲み屋で「青葉城恋歌」を歌おうと思つて歌詞をめくつたところ、なんとそのページだけ破られていて、ないのです。「どうしてここだけないので」と聞くと、店主は「そんな敵国の歌を受け入れられるか」（笑い）と言つていきました。

会津は、薩摩とともに長州への怨みも忘れていない、昭和になってからも、長州（山口県）の県知事が握手を求めたときに、会津側は手を出さなかつたということもありましたね。

福留 この間会津に行ったとき、地元の人が、「私が薩摩だと知つて、『薩摩より長州の方がひどい』と言つていました。

松本 私はどうしかといふ倒幕側なのですが、子ども時代に会津の精神というものをずいぶん擦り

込まれた覚えがあります。いたずらとか悪いことをしたときに、親をはじめ大人たちから、「そんな（卑怯な）ことをしたら会津の侍道先鋒として江戸に入り、会津のものです。

そのことを、「それは家訓のようになつていて、相手（会津）を強敵と認め、敬意を払つてゐる証拠だ」と、会津の人に話したところ、「そうか、敬意を払つてくれているのか」と、素直に納得してくれました。幕末維新期に敵味方

に分かれて戦つたわけですが、魂の部分でお互いに認め合っているのは間違ひありません。

東京に来たばかりの頃、手塚治虫さんが「遊びにおいて」というので訪ねると、アシスタンントの1人に会津出身の人がいて、私が九州出身だと知るや、「おまえは敵だ」と言うのです。私が「なんですか」と聞くと、「オレは会津だ。おまえは九州じゃないか」(笑い)と言つていました。会津の人にとっては、どうも九州全域が敵だと思っているらしいのです。薩長連合という意識が強いせいでしょうか。

福留 でも薩摩も岐阜では「薩摩様」と呼ばれますよ。薩摩義士といつて、長良川の堤で江戸時代に治水工事をやつたのです。薩摩に金を使わせるために木曽川の治水をやれといったのです。それで、今も薩摩は好意的ですね。

福留 松本先生は、「漫画家」であることにはこだわっておられるのですね。

松本 それも、漢字で書く漫画家です。ひらがなにされると、意味がなくなってしまいます。漫画の「漫」は、もともと漫才や漫談などコミカルな意味ではありません。「氵」は水を表し、みずみずしく若々しいということです。「曼」は、日の男は戦う心を持ち、汚れなき瞳をもつということです。ですから「漫画」とは、そうした若々しく汚れなき瞳で描かれたものであるということです。「漫画」とい

う言葉は、葛飾北斎がつけたもので、「漫遊記」という言葉もありますが、これは汚れなき瞳で、見聞を広めて学んで旅をするということです。

じつは、以前中国の国文学者と話したりに、その方が「漫画」とはじつによい字をお当てになりましたね」とおっしゃったことがあります。私が、「それはどうしてですか」と尋ねますと、「ほら『氵』(さんずい)は水でしょう。そして『曼』は、日のごとく暖かく、若々しく、燃えるような目をもつているということです。ようするに、みずみずしく若々しい瞳という意味なのですよ」とおっしゃつたのです。

それを聞いて、私はなるほどと



感心したものです。ですから漫画の「漫」にはコミカルな意味などまったくありません。コミカルな要素をどうしても入れたいのなら「戯画」とすべきでしょう。「漫画」は「戯れ言」とは、本質的に違うの

です。

ところがいつのまにか、漫画は漫才と一緒にコミカルでおもしろいものと転化されてしまつたため、イメージが変わってしまつたのです。

福留 漫画ではなくて、近年「劇画」という言葉もよく使われますね。

松本 それは、漫画があまりにもコミカルなものと捉えられるようになってしまつたために、ある漫画家たちにとつては、その部分をはつきり区別する必要があつたからです。ですから、技術的な部

分でその違いを出そうとしたわけです。これを言い始めたのは、たしか、さいとうたかをさん(『ゴルゴ13』の作者)だと思います。たとえば、車内での風景を描く場合に、漫画は車を描いた全体のなかに、セリフも入れます。劇画の場合は、車は車として描き、セリフ(会話)は、その中のシーンとして別枠に描いたもののなかに入っています。これは、さいとうたかをさん本人に直接たしかめたときの、ご本人の説明でした。

ただし、その中間的なものもありますから、正直どっちがどっちとはつきり言えない場合も多いのです。私自身は、漫画も劇画も同じ語であると思つていますが。昔の話になりますが、私が上京して初めて見たアニメは、ディズ

二ーの『バンビ』でした。手塚治虫先生をはじめ先輩の漫画家たちと一緒に見たのですが、セル画がずいぶん汚かった印象があり、見終わつたあと、「あのセル画の汚れ方は、再撮影のときに傷んだのでしょうかねえ」と先輩に聞いてみると、「おまえは（汚れに）気がついたのか。とうとうこんなやつが出てきたか」と、妙に感慨深げに言されました。

そのあとも雑談を交わしてて、「漫画に笑いというものは必ずしも必要ではないと思います」と言つたとき、別の先輩漫画家が、顔を真つ赤にして、「笑いがなきや漫画といえるか！」と囁みついでました。

それには、さすがに驚きましたが、私はあえて反論せず、「そうか。

それなら勝手にそう思つていればいいさ」と、心の中で叫びました。もちろん私は、笑いというものを否定するものではありません。映画などのなかに自然にこみあげてくる笑いや微笑みというのは、必ずあるものだからです。しかし、すべてを笑えるものにするという発想は、私にはまったくありませんでした。

難解な言葉、科学的な言葉も、子どもは子どもなりに理解する

福留　われわれ「創年世代」は、「宇宙戦艦ヤマト」あたりから、漫画に対する考え方が、大きく変わつたと思いますね。それまでは、漫画は子どものためのものと思つていたのが、『宇宙戦艦ヤマト』が登場してからは、大人が本気で読み込む

に足るものだというように。このことについて先生はどういうスタンスで製作に臨まれたのですか。

松本　『宇宙戦艦ヤマト』の映画は、製作の段階から、子ども向けていう部分をいつさい無視して作らうとのスタンスをとりました。子ども向けですと、もう少し緩やかで、のどかな流れの方が望ましいですし、分量的にもだいたい3分の1くらいにして、やさしくかみ砕いていく必要があります。

しかし、私はその必要はないと考えました。子どもは子どもなりに、難解な言葉であろうと科学的な言葉であろうと、画面を通して理解するであろうと思うからです。これは自分の体験からきていました。これは自分の体験からきていました。小学生のときに、よく科学映画を見たのですが、専門的な難

しい言葉で説明されていたにもかかわらず、それなりに面白く理解できたからです。子どもだからといつて、「なめたらあかんぜよ」なのです。ちゃんと理解できるのですから。

そういうわけで、最初にあがつてきた台本をもとにコンテを描く時点で、大人なみの映画に密度を上げていったのです。それ以来、作品の密度とはそういうものだと概念に変わっていきました。

また、セリフも子ども向けにしませんでした。大人がしゃべる用語をそのまま使いました。『銀河鉄道999』もそうです。子ども向けの言葉を、いつさい使っていません。難解な会話だって、子どもなりに絶対に理解できる、それが私の信念です。

一時期、私は少女漫画を描いていましたが、そのときはすべてを平易なものに修正されました。これ以上ないくらいにやさしい言葉にされたうえに、全部ひらがなに直されました。そうすると、長つたらしい文章になつてしまつて、セリフとしての迫力がなくなつてしまふのです。そのことに、すっかりうんざりさせられた私は、少女漫画を書くことをやめてしまいました。

その後は、大人を意識したいわゆる漫画を描くようになり、言葉もそれにふさわしく、口語体と文語体を混ぜたものに変わりました。福留　1枚1枚の画にはいろいろなメッセージが込められていますから、いつまでもじっと眺めていたいような気がしてきます。そう

松本　われわれが描いているものも、昭和20年代のものとくらべると、扱う用語を含めて表現方法など、かなり違つてきます。しかし、私には、これなら読めるだろうとか、ここまで書いてしまつたならば、もう読んでくれないかもしねれない、

などという発想は、ありませんでした。たとえ子どもであっても、大人向けのセリフが理解できるとの前提が、いつもあるからです。

そうはいうものの、ややこしい感情表現などについては、経験の浅い子どもたちにとつては難しくて分かりにくかったかもしれません。でも、だからといって、表現を平たくかみ砕くということはしませんでした。

「宇宙船のような船」「ヒミコ」をデザイン

福留 「宇宙戦艦ヤマト」を見て、将来宇宙飛行士になりたいと思つたという話を、日本人だけではなく、外国人からもずいぶん聞きました。それくらいに、先生の漫画は子どもに大きな影響を与えていました

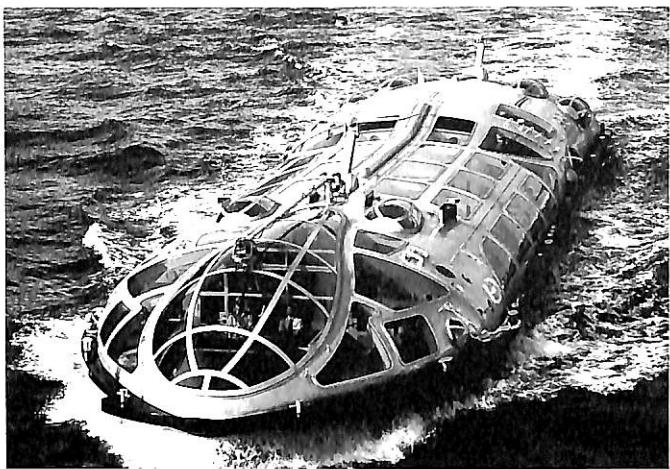
ということですが、『宇宙戦艦ヤマト』は、ヤマトとカタカナにしたことで、男っぽい印象になりました。あの字そのものに、口ゴとして生きるような強さがありますね。

松本 当時は、「やまたいこく」も「邪馬台国」と書きますし、「卑弥呼」には「卑しい」という字を当てています。

福留 先生は「卑弥呼」という360度見えるという船のデザインをされましたよね。そして船名を「卑弥呼」という漢字ではなく、カタカナで「ヒミコ」とされました。松本 日本人が漢字の意味を意識し出したのは、おそらく「日出するところの天子」と書いたのは、日本は地理的に東にあり、東は日が昇るほうだからということですが、そこには、日本の方が格上という意味がこめられていたからです。中国と日本は、一衣帶水の隣国であればこそ、あちこちから微妙で緊張感のある外交関係を保つていたわけですね。

「ヒミコ」は外国人の観光客にも好評で、フランス、イタリア、ドイツ、ハンガリーなど、ヨーロッパの国々から、ずいぶん取材を受けました。ハンガリーから取材を受けたときは、すぐには気づかなかつたのですが、ハンガリーには有名なモルダウ川があるのですね。名前を「ヒミコ」にしたのは、なんといつても分かりやすかつたからでしょう。ただし、この手紙は中国を激怒させました。中國は侮辱されたと思ったわけですか。「日出するところの天子」と書いたのは、日本は地理的に東にあり、東は日が昇るほうだからということですが、そこには、日本の方が格上という意味がこめられていたからです。中国と日本は、一衣帶水の隣国であればこそ、あちこちから微妙で緊張感のある外交関係を保つていたわけですね。

らです。日本人なら誰もが、ヒミコは古代日本の偉大な女王様であることを知っています。一度聞いた



水上バス「ヒミコ」

DATA : 東京水上バス。浅草一日の出ーお台場を一日4往復している。特に黄昏時の乗車がオススメ。発光ダイオードが船体と包み幻想的な雰囲気を味わえる。

「ヒミコ」のデザインについては、宇宙船のような船にしてほしい、橋の上から子どもが見たとき、お父さんに「僕もあれに乗りたい」と言われるような船にしてほしいと頼まれました。

「ヒミコ」は、技術的にも驚くほどの性能をもっています。ガラスの歪みがいつさい出ないようにくられており、外国の技術者に驚嘆され

ら忘れないというのが、あの船の名前にぴったりだと思ったのです。

「ヒミコ」のデザインについては、宇宙船のような船にしてほしい、橋の上から子どもが見たとき、お父さんに「僕もあれに乗りたい」と言われるような船にしてほしいと頼まれました。

プロペラ・スクリューは普通後ろにつきますが、前にも縦についているので、停船したまま回転でできるようになっています。また搖れを防ぐための装置もついているので、まったく揺れません。さらに床には、発光ダイオードを使っていて、まつたく揺れません。さらに床には、発光ダイオードを使っているので、青くなったり赤くなったり、さまざまに色が変化します。

〈次号へ続く〉

創立一年 健康道場

医療費の無駄使いをやめ、 質の高い医療を

未来の子ども達のために、
借金の無い国を目指して

現在、我々の国は七百兆円超える赤字国債を抱え、過去最悪の財政難に陥っています。これは次代を担う子ども達に決して残してはならない「負の遺産」です。この負の遺産を如何に無くすか、そして確固たる意志をもって国家をあげての財政再建に取り組む事が急務の状況となりました。これから日本の未来を担う子ども達が、新たな一步を踏み出せるかどうかは、この

財政再建にかかると云つても過言ではありません。

私は、年々高騰を続ける医療費の見直しこそが、この国の歪んだ財政を立て直す為の第一歩になると確信しています。そのために、我々医療人は常に医療現場と、それを取り巻く環境を監視し、医療を正しい方向へと導かなくてはなりません。医療制度改革こそ、現在の日本国民にとって最も重要であり、医療・福祉をより良い方向へと導く事が、ひいてはこの国の中なる展望を切り開く力となつていくでしよう。

しかし、その医療制度改革案の中で、現在医療・福祉に関して様々な不安が噴出しています。その一つに介護保険制度の問題があります。昨今の厳しい財政状況により、高齢者の介護の質を落とさずに継続してゆ

く事が可能かどうか、今まさに大きな曲がり角に差し掛かっていると言えます。

高度先進医療の問題に対してもは自由診療、すなわち保険のきかない医療が可能になるような「混合医療」の導入は避けられません。財政を圧迫している赤字の公的医療機関の民営化を進めていく事も重要な課題です。

医療費削減を図る一方で、世論の切実な要請を受けている小児を含む救急医療体制の整備充実は急務としてやらねばなりません。また、予防医療にも新たな診療報酬導入が進められています。これらは当然必要な政策です。

しかし、全体の基調は、医療費を上から一方的に減らしていくような強引な制度改革が見え隠れしており、国民の健康や生活を損ないかねないのかという心配もあります。医療機関にとつては医業利益が減少する為、利益率の低さから、無駄な検査や治療を行い、

逆に本当に必要な検査を「儲からない」という理由で省く、ということも起こりかねません。

こういったことから、今本当に必要なのは「医療現場からの改革」であると私は考えます。医療の現場には、まだまだ多くの無駄が蔓延しております、国民の税金を国民の為に活かすシステムになつていません。だからこそ、現場の改革から始めていけば、結果的に医療費を削減する事が可能になり、現在国内総生産GDPの8%前後を占める医療費を更に引き下げる事が可能になるのです。



前田 清貴

(まえだ きよたか)
千葉西総合病院 総長
特定医療法人徳洲会 専務理事

創 健康道場

横浜市 ゆーのデイサービスが オープンしました！

介護保険施行と同時に商店街に
医療と福祉の拠点構想を立ち上げ

妙蓮寺ほつとプラザ（店舗名「ゆーのデイサービス」）
がオープンしました。これはタウンヘルスケアステー

ション構想のひ
とつとして横浜
市のモデル事業

「コミュニティ
再生プロジェクト」
ト」が、はじめ
てオープンした
ものです。

イムノエイト株式会社 代表取締役 谷口郁子氏

駅前（横浜市港
北区菊名1丁目

- 高齢者支援事業（120㎡）
- 足裏岩盤浴やローンボウルズ等をメニューにと
りいれたデイサービス
- 妙蓮寺ほつとプラザの主な事業



3番8号 妙蓮寺商店街「ニコニコ会」内）です。
地域にあった銭湯の後を再利用して作られたもの
で、「足湯」ならぬ「足裏岩盤浴」がつくられています。

健康は足裏からとも言います。足裏を温めて、血液の
循環がよくなると、ハツラツとした一日を過ごせるか
もしれませんね。また室内のローンボウルズ場も設置
してあり、体と頭を思いきりつかってゲームができます。
笑い声や歓声が広がる空間で時間を過ごすと、す
っかり気分も体も若返るかもしれません。

実施主体 イムノエイト株式会社（ゆーのデイサ
ービス）

●子育て支援事業（約30m²）

主に1歳～3歳児を対象とした一時預かり

実施主体 NPO法人・びーのびーの（店舗名
ゆーのびーの）

ローンボウルズとは？

ローンボウルズは、芝生やカーペットの上で、合成樹脂でできた偏心球をゆっくりところがしてジャック（目標球）に近づけることを競うゲームです。ボウルは偏心球なので、スピードが遅くなるにつれ、大きなカーブを描きながら転がります。ボウルが描くカーブと芝の状態を予測しながら、できるだけジャックに近づけて停止させることに、難しさと面白さがあります。

競技は、1対1で行うシングルスから、4対4でおこなうフォアアーズというチームプレイまで、4種類あります。競技する人数や使用するボウルの数が増えると、ジャックに近づけるだけでなく、相手のボウルを

はじいたり、ジャックを移動させたりする戦略も必要になります。手軽にできて楽しいことから、老若男女問わず盛り上がりをつけてきている競技です。車椅子の方の大会も開かれてています。



妙蓮寺ほっとプラザ

特色は、室内ローンボウルズ場があること。床のカーペットにローンボウルズのコートがはめ込まれている。

全国各地に「市民大学」が開設されています。「大學」という名称はついていますが、学校教育法に基づかない大学で、「老人大学」「寿大学」「婦人大学」など、いわば、社会教育事業として行われているものであります。

その実施主体は、教育委員会や、公民館などの行政が実施していますが、中には、市民が経費を負担しあって開設している例も増えています。これらは受益者負担として系統的で、高度なものをめざしているようです。企画から実施まで全て市民が行い、行政はまったく関与しないものもあります。

こうした中で「創年市民大学」が、各地に増え独自の成果をあげている例も見られるようになります。このコーナーは、各地の市民大学の動向をレポートするものです。

習する中で「地域の史跡・文化財」を学びとして「案内ボランティア」をやろうと集まり、学集会を行ってきた。

現在は資料館内の案内、市内の主だった史跡・文化財の案内を行政や小中学校から依頼されるようになり、案内ボランティアを行っている。会員は毎月第一金曜日に集まって情報交換や学習を行っている。

会員は中高年で一人ひとりが自分の地域の情報を持ちより交換しながら一日を過ごしている。今後は郷土資料館を「たまり場」としての地域の人々や全市に呼びかけイベントなどの計画をしている。

この「たまり場」に出入りする人々は女性が多く食（学）欲旺盛である。年に数回ここを起点として地域活動や地域外に出て行つて、食べたり学んだりと、積極的に交流している。

他の「たまり場」との交流を楽しみにしている。

史跡・文化財案内ボランティア

生涯学習グループ「TMの会」（福岡県筑後市）

福岡県の南部に位置する筑後市（ちっこ）の筑後市郷土資料館のなかに「創年のたまり場」がある。

もともとまちづくりグループであるが、地域を学

（まちづくりコーディネーター）
TMの会 江里口 充

遊び心で大学ゴッコ

清見潟大学塾（静岡県静岡市）

30歳台で佐渡島に単身赴任し、地域と家族を大切にする世界に触れた。以後会社人生だけが人生ではないと思い、48歳から地域の生涯学習の発足に関わった。清見潟大学塾で教鞭をとりながら、時代を切り開く新しいシステムの構築に相当の力を注いだ。

行政との協働で塾は大きく発展し、自ら立候補した100名の市民教授と3000名を超える塾生の大集団となつた。現在は行政からの資金的援助無しで、市民の力だけで21年間この事業は続いている。

この感動を論文に書き、平成4年度の「毎日郷土提言賞」を受賞した。63才で静岡ガス株式会社常務取締役を勇退し、現在3代目の塾長に就任している。時あたかも市の合併と地方行政改革の波に洗われ、リーダーとして行政との折衝、塾の自己改革のため毎日汗を流している。

「遊び心で大学ゴッコ」が塾のモットーである。モデルの大学 자체が法人化などで、大きく変貌を遂げ

ている。私どもはイタズラに既得権だけを主張する姿を、好ましいとは決して思わない。時代に穴を開ける斬新な発想とイノベーションによって、この困難を乗り切ろうと苦心している。

大きな組織の一部をすでにNPO法人化し、現在新しいPFI事業と指定管理者制度に挑戦している。私どもの巨大な組織は、もはや単なるボランティア組織ではない。多くの人々の生きがいのための生涯学習を、コミュニティビジネスとして成功させ、半永続的に活動出来るための仕掛けづくりを懸命に考えている。

もとより清見潟大学塾の生涯学習はあくまで手段であつて、目的ではない。私どもの目的は、学習を通じて市民の生きがいを高め、健全なまちづくり、人づくりに貢献すること。明日への希望と理想に燃える前人未踏の自立型高齢社会を確実に築くことにあつる。

清見潟大学塾塾長 庄司 勲

65歳以上人口は、2,488万人を突破。 「高齢者」になったという認識なし。

65歳以上人口が、過去最高の2,488万人を突破した。2015年には、4人に1人が65歳となると見込まれている。しかし、65歳以上の人人が、「高齢者」の仲間入りをした…という認識がどの程度あるであろうか。「高齢社会対策に関する世論調査」によれば、「高齢者」の捉え方について、全国の約半数が、「65歳以上」より高い年齢の人とすべき」と主張している。70歳以上の約半数が「高齢者」という位置づけに違和感がある。たまたま、「60歳定年」とする企業は、ほぼ100%に近い。2004年に成立した改定高齢者雇用安定法によれば、2006年より段階的に定年を引き上げられ、2013年以降には65歳までの雇用が義務付けられる。つまり、高齢者が生涯現役で活躍できることを、社会は求めているのである。

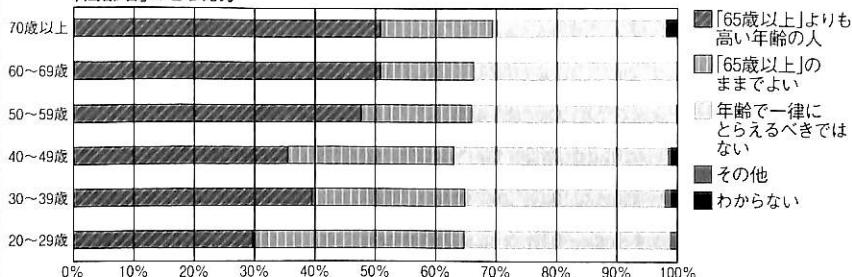
65歳以上人口が、過去最高の2,488万人を突破した。2015年には、4人に1人が65歳となると見込まれている。しかし、65歳以上の人人が、「高齢者」の仲間入りをした…という認識がどの程度あるであろうか。「高齢社会対策に関する世論調査」によれば、「高齢者」の捉え方について、全国の約半数が、「65歳以上」より高い年齢の人とすべき」と主張している。70歳以上の約半数が「高齢者」という位置づけに違和感がある。たまたま、「60歳定年」とする企業は、ほぼ100%に近い。2004年に成立した改定高齢者雇用安定法によれば、2006年より段階的に定年を引き上げられ、2013年以降には65歳までの雇用が義務付けられる。つまり、高齢者が生涯現役で活躍できることを、社会は求めているのである。

60歳はまだ若いし、エネルギーに満ち溢れている。だから、「老人」「高齢者」「おじいちゃん」や「おばあちゃん」という呼び方はしない。自分のキャリアとエネルギーを生かし発展していく中高年の人を、私たちは「創年」と呼ぶことにした。

日本では、戦後のベビーブーム期に生まれた団塊の世代の七百万人が2007年に60歳に差し掛かる。こうした「創年」が、「自分や家族のため」ばかりではなく、「地域・社会、そして世界のため」に、エネルギーを費やして助け合いの社会に参画し、働いてくれるとしたら、多くの社会の歪を回避することも可能であろう。私たちは、そうした「創年」としていきる人々を応援したいと考えている。

齋藤ゆか（聖徳大学）

「高齢者」のとらえ方



出典：内閣府(2005)「高齢社会対策に関する特別世論調査」

創年も共生・共学

清水 英男(聖徳大学)

「創」

年だけで組織した『まち』づくりのグループは、男女共学で共生でなければならぬ』この結論

に至つたのは、創年を対象とした講座の十五分程度の休み時間でのことであつた。私と男女五名の受講生がお茶を飲みながら、いわゆる、だべつていた。

話題が年金から地域活動と団塊の世代へ移つていつたとき、男性の受講生の甲さんが、「退職した男性だけの会員のグループ活動は、長続きしない」といつた。この発言は、甲さんが過去に役員として所属した創年男性のみの三グループがすべて解散してしまったという経験から学んだとのことであった。その理由は、「退職前の役職や職場の規模などで、自らを誇示したりメンバーを評価したりする」ことや「会社の役職をもちだし強引にグループの役員になり、独裁型・命令調で会員を動かそうとしている」ことなどであつた。つまり、「退職後も会社人間になつており、地域での人間関係づくりや地域の一員としての方向転換がうまくできない」というのである。

話し合いも終わろうとしたとき、同席した受講生の

中で唯一の女性である乙さんが、「女性ばかりの創年のがループもうまくいかない」ことを経験し実感していると発言した。その理由は、「年齢がちかく趣味や生活様式が似ていることからサロン的になり、同好の士だけの小グループになりやすい」ということであつた。

ここで、また、真剣な話し合いになり、冒頭の結論に至つたのである。つまり、「創年のグループは、男女の会員がいて、共に学び、その学習で得た成果を共有し生かしあいながら、共に生かし生かされるグループ活動を開拓すること。また、異性は、一人でもよい」ということである。

超少子・高齢社会の渦中にある我が国では、人々が充実した人生を生き活力ある地域社会をつくることが喫緊の課題となつてゐる。そのためには、創年の方々が長い人生経験の中で培つた知識・技術や知恵を活用し、個人やグループで行う各種の社会貢献活動の積極的な展開が必要とされているのである。特に、地域の人々の幸せづくりに結びつくグループ活動は、多くの知己を得ながら地域の形成者としての責任と誇りを感じできるなど、自らの人生を楽しく豊かにすることにも結びつくともいえよう。



「創年と旅」

—創年よ旅に出よう—

九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学
生涯学習研究センター所長

古市勝也

1 創年を取り巻くチョット気になる現象

「団塊世代の大量退職で起きた「2007年問題」が注目を集めています。なぜか。第一次ベビーブーム（1947年～49年）に生まれた団塊世代の大量退職で、企業は、多額の退職金負担と熟練された技能継承が途絶える等の問題があります。また国は、少子化の中での団塊世代の高齢化で、年金や医療などの社会保障制度問題等があるというのです。しかしこの問題は、人口減、少子高齢化を迎えた我が国が解決しなければならない「想定内」の問題であり、積極的に解決行動を開始する必要があります。

「みのむし族」の大量発生か？

ところが最近、気になる噂を耳にします。「みのむし族」が大量発生するとの噂です。「みのむし族」とは、定年後、ジャージ姿で、着替えることもなく、家の中で、殻に閉じこもる亭主のことを言うのだそうです。

まさに「ピッタシ！ カンカン」の妙を得た表現です。しかも、2007年以降この「みのむし族」が大量発生するとの予想です。「粗大ゴミ」「濡れ落ち葉」「ワシも族」、そして「みのむし族」と定年後の亭主族はどこに行けばいいのでしょうか。

「主人在宅ストレス症候群」

さらに気になるのは、定年後の主人の在宅は、妻にストレスを与え、高じると病気になり、最悪の場合は、「死に至る」と言うのです。なぜか。定年後の亭主は、テレビの前でゴロリと横になり、チャンネルを独占し「粗大ゴミ化」するのです。言語も減退し「お茶」「めし」「寝る」しか言わなくなるというのです。掃除の時も、濡れ落ち葉のように、ピッタリと畳にくつ付いたまま動かない・はがれない。妻が買い物に行くと、おら起き上がりつて「ワシも行く、ワシも行く」と付いてくるのです。しかも、「みのむし」状態で付いてくるのですから、妻のストレスは危険領域の限界点に

達し、死ぬと言ふのです。

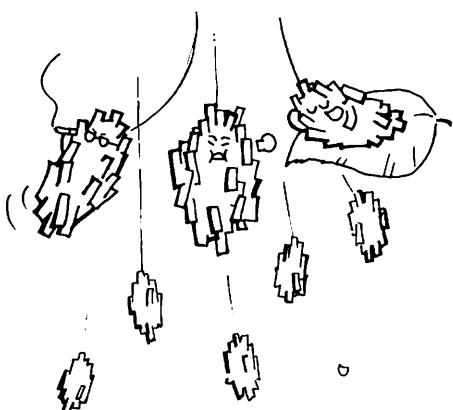
3 創年は、日本を支えた「プロジェクトX」世代である

では、亭主族は本当にだらしないのでしょうか。「違う」と言いたい。団塊世代に代表される創年は、敗戦後の食料等も乏しき幼少期を過ごし、小中学校の時代は60人学級の中で埋もれず、取り残されないよう、絶えず競争の中にいたのです。就職し青、壮年期には、モーテルに働き日本の高度経済成長の礎となつた「プロジェクトX」世代なのです。やつと、マイホームを獲得したらバブルがはじけ、リストラと高失業率の洗礼を受け、そして定年です。まさに団塊世代に代表される創年は「密度が高くて、他と異なる性質を持つ塊」であり、競争に強く、へこたれず、休まず、生き抜く知恵を蓄えた活力あふれる「知恵の塊」世代です。この知恵を「人生80年時代」に活用することが課題なのです。

3 まず、旅に出よう。そして日本全国を旅しよう。

そこで、この団塊世代に代表される「創年」に旅を

お勧めしたい。なぜなら、旅には、出会いがあり、感動があり、転機があります。昔から我が国には、「可愛い子には旅をさせろ」と、旅を人生の学びの場したり、人生の転機として捉えていました。伊勢神宮には全国の人々が人生の節々に「おかげ参り」をしたそうです。そこで、人生の一大転機である定年を機に、自分を振り返り、次なる人生設計を考える「旅に出よう」と言いたいのです。旅を通じて、「さまざまな発見・感動・出会い・ふれあい・助け合い」を体験し、「地域づくり、まちづくり」へと発展したいものです。そのためには、定年後に備えて、40代後半から第2の人生設計をしながら、多くの人と旅を通じて出会うことをお勧めします。それが「創年と旅」であり、「創年のたまり場」での出会いであり、「まちづくり」「地域興し」の「プロジェクトX」に繋がると確信します。



BOOK紹介

地域で子どもをほめて育てよう

全国子どもをほめよう研究会を呼びかけた著者が、子どもをほめることの意義について、わかりやすく解説しています。この本は、最近本を読まないと言われる若い母親たちにとつても、読みやすく、わかりやすく書かれています。

「もつとはやくこの本を読めばよかつた」という、ある

学校のPTAでの発表もあつたとききます。

単にほめるだけでなく、そこには子どもと大人を巡るさまざまな問題がよこたわっており、子どもをほめる行為は、大人の問題であることが理解されるようです。



『子ほめ条例のまちは変わらるのか』

福留強著
イザラ書房

「生涯学習」と「まちづくり」のかかわりについては、最もわかりやすい本であると評されています。これは3年前、韓国の生涯学習フォーラムで発行活用されたもので、韓国でも日本の生涯学習、中でもまちづくりについて関心が高まっていますが、そのときに紹介された日本の論文が、韓国で出版されたものです。内容は、「生涯学習まちづくりの理解」、「生涯学習まちづくりの課題」「生涯学習まちづくりの実践」。ほかに全国の事例が紹介されています。日本の生涯学習まちづくりの取り組みとして参考になる本として、韓国でも活用された、いわば日本版原本というものです。



『生涯学習 まちづくりの方法』

福留強著
日常出版

志布志まち研からこんにちは

まちづくりサポーター 「創年団」結成！



創年市民大学 修学旅行（大分県）にて

布志まち研も発足して3年半になります。この間ステキな出会いが沢山ありました。会員の有無を問わず、町のあちこちでまちづくりが実践され、嬉しい展開となっています。恒例となつた駅前クリーン作戦（第2・4土曜）で花壇を彩るのは、まち研の「花咲かじいさん」たちの花です。

生涯学習講座で学んだ園芸をまちづくりに活かしたのはお見事！又、女性グループ「一の会」主催、「空き店舗」に自分たちで商品を持ち寄ったげんき市、そこにもまち研仲間がいます。

ある会員は家族5人で四浦地区の山里に移住し、美術の創作に励むと同時に地域の人々にも指導しています。人々に慕われ、その場所もたまり場として機能し始めています。少しずつ広がりを見せながら各自のできる事を日々の生活の中で展開中です。

それでは志布志の最新情報です。平成17年12月には創年市民大学の第1回卒業式が挙行されました。今思い出しても感動がよみがえります。そして、なんとその翌日、24名の卒業生が中心となり、まちづくりサポートー「創年団」を結成！ 大学の効果絶大なり。子ほめだけでは物足りず、防犯・防災・子どもの安心・安全を守る事に創年パワーを役立てたい。全国初の「創年と子どものまち宣言」を提唱した町ですから納得できます。そして、ついに2006年元旦・松山町、有明町と合併し人口3万5千人の新生志布志市誕生。戸惑いながらも学んだことを志布志市全体のまちづくりに活かそうと思います。全国のまち研の皆さん、今後も志布志に力を与えて下さいね！

志布志まち研代表・小窪久美子



旅
は
たま
り場
かわいと

全国各地にある創年のたまり場 足を運んでみませんか？

鹿児島

奄
美

福祉作業所
たまり場

あしたば村はみんなの笑顔で
いっぱいです！



■あしたば村
鹿児島県名瀬市小浜町24-8
TEL:0997-53-1651

チャレンジドとは「挑戦するチャンスを与えられた人」を意味する新しい米語で、ハンディキャップに代わるポジティブな表現として最近使われています。

「あしたば村」は運営母体である福祉作業所「あしたば園」や奄美

周辺の島々の福祉施設でチャレンジドたちが生産・製作したものを販売する福祉施設のアンテナショップで、またたまり場でもあります。「あしたば村」には、実習生や里帰り中の養護学校の卒業生、地場産加工品を作っている主婦グループの方、はたまた道をきく人、子育ての相談に来る人、ボランティ

アの中学生、地域の創年の方、いろんな人々が集まっています。その笑顔を見ると、あしたば村がそれぞれの人にとって、居心地のよい場所になっているんだな、と思います。

牛乳パックで造った座り心地がいいイスや、心を込めて作った野菜、陶芸の作品の数々、あなたも一度ごらんになつてはいかがでしょうか？ 手作りのクッキーやかりんとうも人気です。是非あしたば村におしゃべりしに来てください！ 奄美で一番の挨拶がいい親切な店のスタッフがとびきりの笑顔であなたをお待ちしています！

鹿児島

地域振興の たまり場

始良

まあ、いつへんどうぞ！

三船地区エコミニユージアム構想のエコとなる「住吉元氣店」（一号店）を住吉自治会員が自力で造り上げ、地産地消とコミュニティーを目指して平成十一年十二月に開店した。年々産物やユニークな販売品（ロスとボール、薪、豚糞等）が増え、常連客も増えている。

ここは住吉地区住民の手作りの「三船の里」（芋焼ログハウス）も併設していて、「三水会」の「たまり場」（毎週第三水曜日夕方）にもなつている。「三水会」は以前からあって地域づくりの元気店創設のアイデア、実践等を語り合い実現させた。

「三水会」は発展し「七ぼら会」というグループを産出した。七人それぞれ「大ぼら」（地域づくりの夢）を噴き合い、できることからやろうと早速、休耕田（三十アール）を借り受けて米作りをし、元氣店で販売した。資金作りの足しにもなつて喜んでいる。

夢は、「七」に拘つて耕作面積を七十アールに広げる、そして、被災地や発展途上国へ支援米を送ることと、七十七歳までは元気で頑張ることだという。

次なる「大ぼら」が楽しみな「七ぼら会」であり、「三水会」である。また、住吉には面白い「バンブーロッジ」（竹製の館・窯と全てオーナー志戸岡さんの手造り）がある。ここは竹炭焼き窯で、窯焚き・竹酢作りの外材料の孟宗竹の間

伐・持ち出し・運搬・竹の切断・窯入れ・管理それに来訪者の対応等、普段ほとんど志戸岡さん一人でこなしている。

寒風吹きすさぶ冬場はだれかれと無く訪れ、竹炭でじっくり煮込んだオーナー特性の「しし鍋」を囲み、青竹コップ

いっぱいの地産の焼酎に寒さを忘れ話に華が咲くこともある。心身ともに温まる「バンブーロッジ」である。麓宏吉



七ぼら会のみなさん



茨
城

水
戸

子どもサポー
トのたまり場

子ども図書館「モモ」で
本の楽しさ伝えています！

美しい自然、豊かな風土に包まれた水戸市。日本三名園とも賞される「偕楽園」が有名ですが、子ども図書館「モモ」は水戸の中でも大変市民に人気がある「大串貝塚ふれあい公園」に隣接して建っています。

運営スタッフは総勢18名のステキな広域ボランティアの皆さんで、
①本好き！の輪を広めよう
②「本」「モモ」を通して自己実現を試みよう！
③出来ることを提供し、お互いに楽しもう！

を合言葉に活動しています。
「モモ」はミヒヤエル・エンデの文学作品「モモ」から由来。時間について語りかける「モモ」にあたり、本と向き合つていろいろ思索にふけりながら、ゆつたりと時間を過ごしたいという思いで命名しました。



■子ども図書館「モモ」
茨城県水戸市「大串貝塚ふれあい公園」隣
開館時間：土・日の午前10時から午後3時まで

第二土曜は紙芝居やクラフトなどイベントを行なっている

「子ども図書館モモ」は外観は二階建ての民家で、緑の屋根にある4つのとんがり飾り瓦がアクセント。床も壁もヒノキの無垢板張りで、とても気持ちのいい空間です。展示冊数は約3500冊。「読書の楽しさ・本の持つすばらしさを子どもたちに伝えたい」という思いと共に、

創年のたまり場として、あるいは子どもと積極的に関わろうとして「モモ」に來ている大人たちの交流の場、子育て中の母親や子どもたちへの子育て支援の場として広がってきています。「モモ」は仲間に恵まれいろいろな可能性を秘めている。試行錯誤、軌道修正しながら、楽しく運営していくれば最高です。

田山喜子

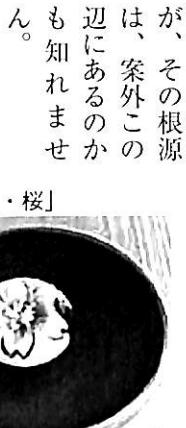
東京銀座のたまり場

銀座

銀プラ人を窓越しに
眺め味わうコーヒー・和菓子

並木通りと御幸通りの交差点の角地にある、銀座の代表的な老舗・銀座鳳月堂。この店は昔から銀座のデートコースになつています。ここがいま「創年のたまり場」に名乗り上げています。運がよければ、若ママ・久岡さんに会えるかもしれません。いうまでもなくレストランの美味の栗もちコーンスは、創年グループには必味の銀座名物とか。また、おすすめの和菓子「ねりきり・桜」は、季節の移り変わりを味と形で表現する伝統の日本の味です。

このビルにオフィスをかまえる



「ねりきり・桜」

は、案外この辺にあるのか
も知れません

が、その根源

のが、元資生堂の重役・有田英世さん。銀座並木通りの活性化にかかる名物のキーマンで、この鳳月堂を基点に銀座再生を図ろうとしています。鳳月堂に行つたら有田事務所によるのもいいかもしれません。ちなみにこれまで銀座で実践してきたことは、毎月のグループ研究会、銀座若手経営者との意見交換会、芸能分野での創年の会PR活動、銀座ときめき街道づくりなど多彩です。最近、銀座でも「創年のたまり場めぐり1万歩ウォーキング」などのうわさも聞きます



■銀座鳳月堂
東京都中央区銀座
6-6-1



有田英世さん

福

嘉
穂

地域活動の たまり場

とで百にはいまいち足りないと
う意で付けられた。

白姓天国は遊びの中から
何か生まれる！
この堀立小屋は十一年の歴史を
持つまちづくりの本拠地である。
白姓とは未だ本物の百姓に成り
きれない都市からの移住者達のこ

画、ボランティア、アウトドアス
ポーツの指導等、多岐に及ぶ、小
中学校の総合学習の場としてもす
っかり定着し、指導に当るボラン
ティアも町の人気者になった。

- 一、会員は会員間の融和を重んじ「ふる里」の発展に寄与する者
- 一、ここでは会員としての年会費を支払った者だけが大きな顔が出来る
- 一、会員は何時でもこの施設を利用できる。家を追い出された時や帰りたくない時は泊まつていい。
- 一、会合は不定期的に適当に開催し、集まった者だけで楽しむ
- 一、この施設内に有る飲食物は何時でも勝手に飲み食いしていい。但し持ち出しが禁ず。
- 一、会費は適当に使い会計報告しない。
- 一、この施設の運営資金は会員の会費と奇特な人からの净財で賄う。
- 一、会員は紳士淑女であり色気のあるもの。

御法度

- 一、喧嘩、もめごと（論戦は大いに戦わす）
 - 一、露骨なセクハラ、不快な言動
- ◎入脱会
- 一、入会・脱会は自由
 - 一、入会希望者は年会費一円を黙って前払し、大方の会員が承諾した者

まちづくりでは八年前から源流の森づくりや四十キロ探検ウォーキングは毎年三〇〇人以上が県内外から参加するイベントに育つた。

又特産物売場も七年前に町役場に提案し現在年商五億四千万円を売り上げる県内有数の特産品売場に成長した。

初代から現存する小屋は今も毎月各種催事で埋まっている。中でも年に数回外国や東京から有名ミユージシャンが来てのライブは今や全国からファンが駆け付ける。仕込みは全て扶助中年の会がボランティアでやる。楽しみはやっぱ飲み会、猪や鹿が捕れた、嫁をもらった、子どもが出来た、雨が降つても風が吹いても何かあれば集まって焼酎片手に語り明かす。楽しい「大人の遊び場」である。



嘉穂醉軍
扶助中年の会のみなさん

青木宣人

千葉 松戸

明治時代の 蔵のたまり場

蔵のギャラリー・喫茶 結花^{ゆうか}

東京と千葉の境を静かに流れる江戸川。その江戸川の千葉県側にある松戸のほとりには、伊藤左千

の増田さんが、解体される運命にあつた明治八年築・約百三十年前の土蔵を所沢市から移し、よみがえらせました。

白壁の外観もさることながら、

にもなつた「矢切の渡し」があり、東京觀光の折に足を伸ばす人も多いそうです。松戸市

は、昭和の庶民の暮らしの面影が今でも感じられる町で、

そして中には、建物と同じくらいに歴史を刻んでいるステキなアンティークの調度品の数々が！

もちろん、こちらではおいしいお茶や有機野菜を使った和食がいただけます。

時にコンサートが催され、また、1、2階ともギャラリーとして開放されている蔵のギャラリー・結花。散策の後に訪ねてみてはいかがでしょうか？

齊藤美智代

■蔵のギャラリー・喫茶「結花」

千葉県松戸市下矢切89-4

TEL 047-361-2103

(営)11:00~18:00 月・火定休

花がありま
す。
この味わい
ある結花の建
物はオーナー



京 都

料理旅館の たまり場

樂々荘は人が集う
ステキな場所

京都から山陰線で緑と田園風景の広がる亀岡へ。駅から少し歩くと、「樂々荘」はあり、中へ一步入ると、古き良き時代にタイムスリップしたような懐かしい感じがします。ここ樂々荘は、貴族院議員で明治の京都政財界の大立者、そして旧山陰線生みの親でもある、田中源太郎氏の旧邸を今に伝えるもので、登録有形文化財に指定されています。山陰線（現在のトロッコ列車）のトンネルや鉄橋と同じレンガを使つた洋館や豪壮な書院造り、玄関の日本建築と、650坪の庭園が見事な対比を見せています。回遊式池泉庭園は、平安神宮神苑などの庭で有名な七代目小川治兵衛（植治）の作と伝

えられています。

昭和23年、田中家より中田家に譲られ、料理旅館として創業されたのが現在の「樂々荘」です。

創業当時より男の憩

う場所（政治や行政の裏舞台）として長年地域の役に立つてきました。洋館は、なにか不思議なゆつくりした時間の流れと、そんな中にも張り詰めた空気があります。長きにわたり、ここで行われた様々な会合が、現在の生涯学習都市として名が上がるようになつた亀岡の街を創り出したのかもしれません。

2003年春、お庭を眺めながらイタリア料理が楽しめる「チンギアーレ」がオープンし、男性の場のみならず、女性達も集う空間になりました。

和と洋が織り成すコントラスト

京都府亀岡市

まちづくりコーディネーター

佐藤 理恵



代表取締役社長・中田智之さん
女将のまゆみさんと佐藤さん

■樂々荘

京都府亀岡市北町44
TEL 0771-22-0808

は、時間を忘れ引き込まれます。夏にはお庭でピアガーデンも楽しめ、宿泊のお部屋は京都らしく、四季折々の京都を楽しめます。ぜひ一度この空間、空気を味わいに京都亀岡「樂々荘」を訪れてみてください。きっとそこには、いつもと違う刻が流れているはずです。



■ドルチェ 本店

〒722-2416
広島県尾道市瀬戸田町大字林20-8
Tel.08452-6-4046

広島 食のたまり場

創年もカップルでジェラートを
食べませんか？

美しい瀬戸内の島々を縫うよう
につづく「しまなみ街道」をひた走
り、生口島に到着、そこは柑橘類の
宝庫といわれる瀬戸田町。穏やかな
海沿いに車を走らせると、一瞬、イ
タリアの地中海沿岸に迷い込んだ
のかと思わせるような木造のテラ
スが特徴の明るい建物が目に入る。

おすすめのジェラートはいろいろ
あるが、やはり、地元で造られ
た100%天然の柑橘類のジェラ
ート、レモン、みかん、デコポン、は
つさく、夏みかんが特におすすめ。
その他に一度は試してみて欲しい
「伯方の塩ジェラート」。まるで瀬
戸内海の色のような淡いブルーの
あつさり味、一度食べるとやみつ
きになる。

昨年の夏、「生涯学習まちづくり
フォーラムINせとだ」をお手伝
いに行つた帰り道にも学生たちと
立ち寄つた。テラスで海眺めな
がらジェラートを口に運び、まる

で海の軽井沢とばかり、ひととき
リゾート気分を味わつていると、
海沿いの道路を自転車で高校生が
通り抜ける。学生たちが「え
ー！」と叫ぶ。よく観ると自転車
に乗つている男女の高校生が手を
つないだままなのだ。高校生のく
せに生意気な、と嫉妬交じりの学
生の声を背に、私も思わず先生の
顔に戻り、「危ないから止めなさ
い」と叫んでしまつた。それから
良く観ていると、なんとカップル
がよく通る場所である。創年もこ
こを利用する場合は出来る限りカ
ップルで行き、ジェラートを片手
に、もう一方の手はつないで歩い
てみよう。

広島国際大学 心理科学部
コミュニケーション学科

助教授 久次弘子

生涯学習社会貢献センター—ニュース

聖徳大学生涯学習社会貢献センターの研修・調査が定期的に行われています。

課題別研究会

討議を公開するものです。

駅前創年セミナー、市民講師も活躍

赤ちゃんから生涯学習へ

松戸駅前にそびえる聖徳大学生涯学習社会貢献センターで、毎月開催される講座です。

聖徳大学生涯学習研究所が、実質的に本誌を作成しているところですが、その研究所が提唱した計画が、平成15年から文部科学省の私立大学高度化推進事業の一環として学術フロンティア推進事業として採択され、5年間の研究が推進されています。その研究の拠点として、大学は松戸駅前に70mの高層ビルを完成させました。「生涯学習社会貢献センター」と名づけられ駅前1分のところに立地するということから、市民の期待も大きいといわれています。ところで、その研究テーマは、「生涯学習の観点にたつた『少子高齢社会の活性化』に関する総合的研究」というものです。

大学としてはかなり大規模な研究で、テーマを5つに設定してあり、5つの専門分野に研究者を配してあります。その各部門は、研究成果等を発表したり研究

生涯学習社会貢献センターでは、さらに市民講師を

生涯学習社会貢献センターでは、さらに市民講師を

募集しております。この中からも講師を起用しながら講座を拡大していく計画です。参加者は、全国生涯学習まちづくり研究会会員に限らず、広く募集しています。毎回、なんと山形県天童市から参加される人もいるほど。西村美東士教授のワークショップなどユニークな発表が人気をよんでいます。

中高年の地域活動の拠点に関する調査

「地域の人々に親しまれ、まちづくり生涯学習に貢献していると思われる民間施設」

地域には、何かあると必ず地域のために協力をしている事業所や民間の施設などが存在するものです。それは、地域の人々にとって魅力あるたまり場ということが出来ます。したがって、ひとつのまちに数多く存在すればするほど、魅力のある地域ということになります。それは福祉や教育に貢献したり、観光やコミュニティづくりに貢献しているということが出来るでしょう。聖徳大学生涯学習研究所では、創年のたまり場を、「中高年の地域活動の拠点に関する調査」と言う名称

で、全国的に実態調査をしています。これは文部科学省採択の私立大学学術研究高度化推進事業・学術フロンティア推進事業の一環として、聖徳大学生涯学習研究所の学術フロンティアプロジェクトが行うものです。

○調査対象は、全国の自治体の首長部局及び教育委員会、まちづくり研究会会員等 3000名

○調査方法は、全国の自治体に対して、教育委員会、首長部局に、それぞれ調査票を送付しFAXで回答してもらう。又同様に全国生涯学習まちづくり研究会会員にも同様の調査票を配布し、より幅広く調査するものです。

○調査内容は、市民の生涯学習、まちづくりに貢献している民間の施設、事業所等の名称、所在地、代表者名、おもな事業特色など

○調査日程は、平成18年3月25日～4月30日

○調査結果は、都道府県ごとに、また内容ごとに分類して、全国の自治体に、地域の「まちづくり・生涯学習の推進等に役立つている民間施設」として資料にまとめ、全国に公表する予定です。

生涯学習研究所・出前講座で協力します

自治体の市民講座を、大学の各機能と連携して、出前講座を実施することになりました。

内容は、各地の講座に、ゲストとして指導者を派遣するもの。自治体には期待されるようです。すでに4月以降の予定を前倒しにしたいという自治体がいくつか名乗りあげているほどです。

また、講座全体を全面的に大学に委託する場合もあります。皆さんの自治体や団体等でも、検討してはいかがでしょうか。

○連携の対象 全国20か所程度の自治体、教育委員会、公民館等

○実施期間 平成18年4月～平成19年3月 随時受け入れますが、調整します

○出前講座の内容例（具体的には相談に応じます）
・まちづくりボランティアの養成研修（半日コースの研修）、子どもをほめよう研究会

・地域活性化の技法、地域福祉とまちづくり、生

涯学習まちづくり、市民が主役のまちづくりの方法・P.T.Aと地域活動、創年活動の意義、など。

○実施の条件

① 参加者30人以上

② 講師の交通費・宿泊費 聖徳大学生涯学習研究所と要相談

○担当する主な教授

担当の教授（及び聖徳大学生涯学習研究所学術フロンティア推進事業研究委員）など、多彩な指導者が指導します。

受け付け 聖徳大学生涯学習研究所

〒271-18551

千葉県松戸市松戸1169

電話 047(365)5691

FAX 047(365)5692

（担当・齊藤、橋本、竹田）

平成15年～19年文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業「学術フロンティア推進事業」
「生涯学習の観点に立った『少子・高齢社会の活性化』に関する総合的な研究」

〈総括部門 高齢者の生きがい対策と生涯学習まちづくりネットワーク創り〉

研究組織

| | | |
|--------|------|-------------|
| ◎福留 強 | 人文学部 | 生涯教育文化学科 教授 |
| 清水 英男 | 人文学部 | 生涯教育文化学科 教授 |
| 西村 美東士 | 人文学部 | 生涯教育文化学科 教授 |
| 齊藤 ゆか | 人文学部 | 生涯教育文化学科 講師 |

注：◎は総括部門の主任

〈学術フロンティア推進事業報告シリーズバックナンバー案内〉

| No. | タイトル | 発行年月 | 判型 | 頁数 |
|-----|------------------------------|--------|-----|---------------|
| 1 | 『少子化に関する地域システムの研究』 | 2004.3 | A 4 | 100 |
| 2 | 『韓国の平生学習とまちづくりの推進』 | 2004.3 | A 4 | 155 |
| 3 | 『高齢者の生きがい対策と人材活性化に関する研究』 | 2004.3 | A 4 | 196 (+100) |
| 4 | 『少子社会における子どものための地域活動の展開』 | 2005.3 | A 4 | 196 (+100) |
| 5 | 『生涯学習指導者の養成と活用に関する研究』 | 2005.3 | A 4 | 46 (+162) |
| 6 | 第6回生涯学習フォーラム－全国生涯学習まちづくり研究会－ | 2005.3 | A 4 | 120 (+58) |
| 7 | 地域の教育力の向上と子ほめ運動の現状 | 2005.3 | B 5 | 202 |
| 8 | 地域福祉まちづくりの現状と実践的展開 | 2005.7 | A 4 | 102 |

創年学—中高年の新しい生き方の創造— （総括部門 報告書）

平成15年～19年文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業「学術フロンティア推進事業」
「生涯学習の観点に立った『少子・高齢社会の活性化』に関する総合的な研究」

2006年5月 塁徳大学 生涯学習研究所
監修 研究代表者 福留 強

聖徳大学 生涯学習研究所 学術フロンティア推進事業
住所：〒271-0092 千葉県松戸市松戸1169 聖徳大学生涯学習研究所
電話：047-365-5691 Fax：047-365-5692 E-mail:frontier@seitoku.ac.jp